



Morisawa Magazine

24~25 Winter
issue 22

モリサワの情報をお届けする
モリサワマガジン

モリサワカレンダー2025 “リガチャ(合字)”

2025年のモリサワカレンダーは、書体用語である“リガチャ(合字)”がテーマです。2024年に続き、アートディレクションは佐藤卓氏、世界各国のすばらしいグラフィックデザイナーやタイポグラファーの皆様により、テーマを自由に解釈した作品を手がけていただきました。その中から、デザイナーのメッセージとともに6点の作品をご紹介します。

リガチャ(合字): 2つ以上の文字が組み合わされて1つのデザインとしてつくられたもの。例として「f」[a] など。

※当カレンダーは限定品のため、一般向けの販売・ご提供は致しかねます。何卒ご了承ください。

※当カレンダーは制作上の都合により、2025年1月中旬以降の完成予定となります。心よりお詫び申し上げます。

佐藤卓 さとう・たく(株式会社TSDO) - アートディレクション

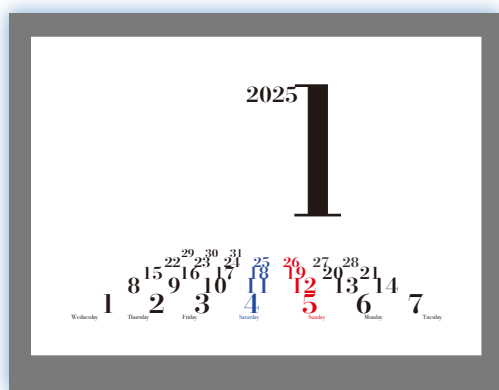
東京藝術大学デザイン科卒業、同大学院修了。「ロッテ キシリトールガム」「明治おいしい牛乳」のパッケージデザインをはじめ、ポスターなどのグラフィック、商品や施設のブランディング、企業のCIを中心に活動。NHK Eテレ「デザインあ」「デザインあneo」総合指導、21_21 DESIGN SIGHT ディレクター兼館長を務め、展覧会も多数企画・開催。毎日デザイン賞、芸術選奨文部科学大臣賞、紫綬褒章他受賞。

葛西薫 — サン・アド(日本)

1月

月日は列をなして未来から目の前にやってくる。そんなイメージで数字を配置した。2025年の元日は水曜日だ。そこで、1月の始まりを水曜日にしたら、土曜と日曜は週の間にあることになり曜日の意識が変わるように思った。

1949年北海道生まれ。1973年サン・アド入社。サントリー、ユニテッドアローズ、虎屋などの広告制作およびアートディレクションのほか、CI・サイン計画、映画・演劇のグラフィック、パッケージデザイン、ブックデザインなど多岐に活動。著書に『図録 葛西薫 1968』(ADP)がある。

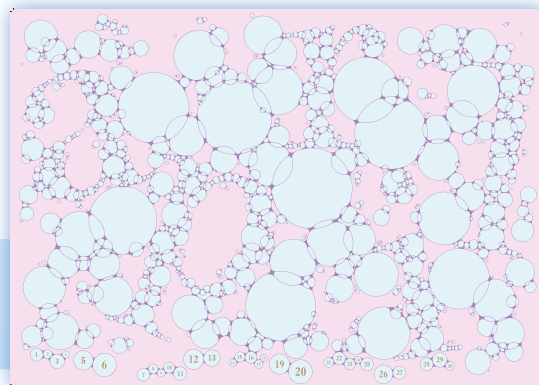


Jumping He — hesign (China / Germany)

4月

東京では桜が咲き誇る4月。私の故郷、杭州は雨に包まれる。時には霧雨。時には激しい雨が降り、池では水面をたたく雨の滴がしぶきをあげ、無数の泡と大きな波紋が広がっていく……故郷を離れて30年以上経つ今でも、ふと4月の情景が目に見えてくる。

中国・阜陽生まれ。現在ドイツ・ベルリンを拠点に活動するグラフィックデザイナー、作家、出版者。中国とベルリンでグラフィックデザインを学び、2011年に博士号を取得。さまざまな教育機関で教鞭をとり、国際的な賞を多数受賞。



春から夏へと移り変わる頃
新たな色彩が満ちあふれる
すべてが結びつき、対比する
美しく混沌とした配列の中で

5月

John Warwicker — tomato (UK / Australia)

1955年ロンドン生まれ。現在はオーストラリア・メルボルンを拠点に活動。
クリエイティブ集団「トマト」の共同創設者で、英国王立技芸協会フェロー
(FRSA)。英国王立芸術協会(RDI)、AGI、東京タイプディレクターズク
ラブ(TDC)のメンバー。メルボルン大学VCAのグラフィックデザイン学
科教授、東京造形大学および桑沢デザイン研究所の客員教授。



9月

cyan (Germany)

リガチャ(ligature ラテン語：女性名詞)、ももとの意味は「帯」、医学では「包帯」、換
喩としては「束」、レスリングでは「体の絡み合い」、タイポグラフィーでは「互いに寄り添
い、それゆえにつながっている2つの文字(合字)」を意味します。私たちは、異なる世界
や時代をつなぎ、さらなる思考を刺激するために、人、機械、動物、装置、植物などから、
特別な表現や詩情、ユーモアを持つ新しい形のリガチャ(合字)を探してみました。

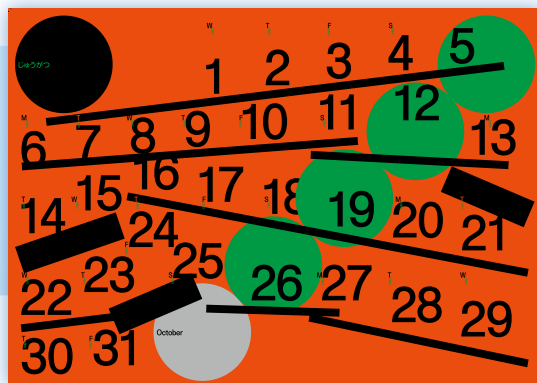
グラフィックデザインスタジオ「cyan」は、1992年にダニエラ・ハウフェとデトレフ・フィードラーに
よって、ベルリンで設立。文化・公共機関のVI(広告キャンペーン、ポスター、書籍、雑誌、ウェブサ
イトなど)や、展覧会やパフォーマンスのための視覚的演出戦略(展示デザイン、舞台美術、マルチメ
ディア作品、画像編集)を専門に活動。

10月

Balmer Hählen (Switzerland)

従来のカレンダー表現に新しいアプローチを取り入れ、直線的な硬さを排し、形やタイポ
グラフィー、コントラストが調和するダイナミックなレイアウト、ビジュアル構成を目指しまし
た。日曜日はリラックスと休息の象徴として円形で際立たせ、視覚的な対角線を描くことで、
心地よさを。一方、平日は長方形の形や線に合わせて日々が「踊る」ように配置し、仕事
の秩序や予測できない要素、そして週の慌ただしさを表現しています。

プリシリア・バルマーとイヴォ・ヘレンによって、2013年にスイスのローザンヌ中心部に設立さ
れたグラフィックデザインスタジオ「Balmer Hählen」は、アート、デザイン、音楽、写真など
の文化的領域を中心に活動。2022年よりバルマー、ヘレン共にAGIメンバー。

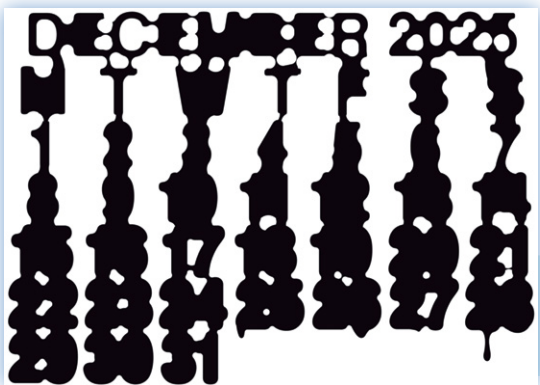


Paula Scher — Pentagram Design (USA)

12月

インクが乾かないまま滲んでしまったり、誰かが何かをこぼしたようなカレンダーペー
ジをデザインしました。ただ配置するだけではあまりに普通で面白みに欠けるので、
選んだシンプルで太めのフォントを判読できないほど崩しています。滴のような文字
は、上から描き足すことで実現しました。コンピューターを駆使し、今回のアイデア、
表現を指を汚さずに作品にできるのはすばらしいことです。

世界で最も評価されているグラフィックデザイナーの一人。1991年以降、国際的なデザインコンサル
タント「ペンタグラム」のニューヨークオフィスのプリンシパルを務め、幅広いクライアントのブラ
ンドアイデンティティ、サインエージ、パッケージ、出版物を手がける。



邦文写真植字機発明100周年 特設サイト

モリサワは2024年7月24日に、創業者 森澤信夫による邦文写真植字機の発明から
100周年を迎えました。その歴史を振り返るプロジェクトの一環として特設サイトを公
開しています。写植機誕生の歴史や、構造紹介などのコンテンツをお楽しみいただけます。



お問い合わせ・ご要望は コーポレート・ブランディング部広報宣伝課 E-mail: pr@morisawa.co.jp

WebサイトでのMorisawa Magazine閲覧は www.morisawa.co.jp/about/morisawa-news

モリサワ

株式会社モリサワ

本 社 〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2-6-25 Tel:06-6649-2151

東京本社 〒162-0822 東京都新宿区下宮比町2-27 Tel:03-3267-1231



フォント男子!

業界初!? フォント擬人化コメディ漫画!

Webコミックサイト「ヤングエースUP」にて無料掲載中!



●今号のフォント 本文：秀英角ゴシック銀、UD新ゴNT(AP版) R
見出し：櫻見出明朝、Heavy Text PE Medium トップ画像：虹蜃天国、
満福丸、汐舟、辻風、はるかぜ、花氷、グロウDisplay Condensed H、てや
んでえ、ニブシツ秀英にじみ初号明朝 撰、翠流くゆりペン、櫻見出明朝

※記載されている会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。